

シンポジウム

テーマ

「持続可能な学校運動部活動及び中体連大会を目指して」

コーディネーター

- ◆ 永沼 崇 (公財) 日本中学校体育連盟 研究部長
秋田県中学校体育連盟 理事長

シンポジスト

- ◆ 小野 功 秋田県中学校体育連盟 陸上競技専門部副委員長
- ◆ 後松 静香 秋田県中学校体育連盟 研究委員
- ◆ 佐原 賢一 秋田市中学校体育連盟 常任理事
- ◆ 福山 健太 秋田県中学校体育連盟
バスケットボール専門部委員長

シンポジウム 概要

◇協議題Ⅰ

持続可能な運動部活動を目指していくために ～今後の学校運動部活動について～

【持続させるべき運動部活動の姿】

- 体力や技能の向上を図るだけでなく、生徒の多様な学びの場として教育的な意義が大きい運動部活動

【現状・課題】

- 少子化が進展する中、従前と同様の運営体制では維持が困難
- 運動部活動の在り方に関する総合的なガイドラインに基づく活動の推進
- 教員の抱える業務としての是非（働き方改革）等

話題提供Ⅰ

大仙市立協和中学校 後松 静香 教諭

『秋田県の部活動の実態から考える持続可能な学校運動部活動について』

- 秋田県の部活動に係る現状
 - ・部員数の減少
 - ・複数校合同チーム編成数の増加
 - ・学校部活動設置数と配置教職員数の不均衡
 - ・「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」に関わる実態調査
 - ・持続可能な運動部活動を目指していくための課題
- テーマに関するシンポジスト意見および問題提起

話題提供Ⅱ

秋田市立山王中学校 小野 功 教諭

『校外スポーツ環境の利用と連携について』

- 秋田県の部活動環境に係る現状・課題
 - ・部員の減少
 - ・顧問の配置状況（専門指導が困難・複数顧問配置に至らない）
- 校外スポーツ環境の利用と連携について（事例紹介）
 - ・専用体育施設に集まる子どもたち
 - ・競技団体の活動機会を利用
 - ・民間クラブとの連携協力
- テーマに関するシンポジスト意見および問題提起

◇協議題Ⅱ

持続可能な中体連大会を目指していくために ～今後の全中大会について～

【持続させるべき全中大会の姿】

- 教育活動の一環としての機能をもつ全国大会（大会要項の目的）

【現状・課題】

- 熱中症への対策・対応
- 教員の抱える業務としての是非
（運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン・働き方改革）
- 開催地の受け入れについて（ハード面・ソフト面・経費面）等

話題提供Ⅲ

秋田市立勝平中学校 佐原 賢一 教諭

『秋田市中総体から考える持続可能な中体連大会を目指して』

- 持続させるべき中体連大会の性質について
 - ・中学生の成長を促す教育的機能
 - ・スポーツ競技会
- 秋田市中学校総合体育大会の紹介（教育的な価値を中心に）
『スポーツの多様な関わり方の視点』
 - ・4つの視点（する・見る・支える・知る）『秋田市中学校総合体育大会の課題点』
 - ・教育的要素 < 競技会的要素
 - ・準備および運営への負担過多
- テーマに関するシンポジスト意見および問題提起

話題提供Ⅳ

秋田市立秋田東中学校 福山 健太 教諭

『持続可能な中体連大会を目指して～大会規模縮小への試み～』

- 中体連大会の現状・課題
 - ・部員不足による参加選手（チーム）数の減少
 - ・熱中症への対応
 - ・学校現場の働き方改革（今後の部活動の在り方）
- 秋田県中学校総合体育大会に係る課題への対応
 - ・選手数（チーム数）の減少→代表枠数の見直し（変動制へ）
 - ・地区大会運営の困窮→地区大会試合数減（代表枠数再調整）
 - ・熱中症対策→会期縮小（2.5日 → 2日）
選手・教員役員等の負担軽減
- テーマに関するシンポジスト意見および問題提起